

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日 13:00～14:00	会長	藤谷 猛
例会場	ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	深見 礼子
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	岩崎 幸弘



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第234回 例会

2018年6月20日 13:00～

■司 会	長谷川芳子 例会運営・司会委員
■斉 唱	それこそロータリー
■出席報告	出席者数 29 名 / 43 名 出席率 67.44 % 前々回修正出席率 83.72 %

ニコボックス

- 昨日、名古屋名東ロータリークラブの40周年の祝賀会で韓国ソウル、インドネシア・バリ島の会員さんと仲良くなりました。そのときソウルの例会に出席の約束をしたのですが、こうした事もロータリーの楽しさですね(藤谷猛会長)
- 来期地区大会前泊の件 多数のご参加お待ちしております。(お知らせ)グループのカフェ納屋橋テラス“モナペトロ”7/1.7/2.7/4 70～80年代 pops“マンボウ”さんコンサート お時間ありましたらお立ち寄りください(竹内祐子会長エレクト)
- 昨日は、青少年奉仕 ローターアクト委員会の主管の引き継ぎを竹内様 篤村君 加藤君 安井嗣君にて終了したそうです。皆様1年間本当にご苦労様でした。そしてありがとうございます。もうこの四人様はローターアクトに関して怖い者なしですね(安井戦略委員長)
- 月曜日朝 北大阪で地震にあいました。たまたま、震源地近くで宿泊しており今ココで死ぬのか?～と思いましたが、お陰様で生きて帰ってきました。改めて生かされている事に感謝です。(深見和久親睦委員長)

会長挨拶

みなさん、こんにちは。

今年度もあと1週間足らずとなりましたが、昨日は大きな催しが2つ御座いました。1つ目は、私たちアイリスロータリークラブが初めての主管、大役を務める合同ローターアクト特別委員会(年度総括・引き継ぎのための合同会議)が開催されました。

今年度、青少年奉仕委員会の加藤委員長と安井副委員長を中心に委員の皆様は、何も分らず手探りともいえる状態の中、完璧に主幹を務めあげられました。ここで、結果だけを聞いている私たちには分から

ない、想像を絶するご苦労があった事と思います。ローターアクト委員会の構造理解、組織の取りまとめ、合同会議の運営、会計処理、そして何よりも膨大に時間を割かれたのは毎



回のドキュメント作成だったのではないのでしょうか。

このような作業は、効率の問題もあり、どうしてもスキルをお持ちの会員の方に集約されてしまいがちです。今回は安井副委員長に大きな負担が掛かってしまいました。おそらくご自分の仕事にも支障が出ておられた事は容易に想像がつかます。委員会の皆様には心よりお礼と感謝を申し上げます。大変ではありましたが、運営のノウハウはつかみました。そしてローターアクトの構造と理解は成しえたように思います。これが例年通りであればなんとなく委員会に誰かが出席して終わりだったのではないのでしょうか。

現在、事務局をもたない当クラブであります。こうして自らがドキュメントを作成し行動することでロータリーを深く知る会員が増える事はメリットであったと思います。私たち全員が、ロータリーを深く理解する気持ちを心に抱けば、食事にくるだけの会員やメイキャップをしない会員の数は減って行くでしょう。

そして今年度の初めに三木会員から、とにかく各委員会は委員会を開くようにとアドバイスを頂きました。わたしも色々な委員会をお願いを致しましたが、本当に意味のある委員会を続けて頂いたのは青少年奉仕委員会だけだったように思います。

やはり、目の前に絶対にやらなくてはならない責任と目標があるからこそ自ら開催をし、取りまとめを行って来られたのでないのでしょうか。次年度の竹内会長エレクトも委員会の開催継続を唱えておられます。その趣旨をご理解頂き、次年度へ心をつないで頂ければと切に願っております。

そして2つ目の催しは、名古屋名東ロータリークラブ創立40周年の記念式典が東急ホテルで開催されました。市内24RCの会長・幹事、ガバナー、多数のバスターガバナー、地区幹事、地区財団委員長、地区米山委員長そして韓国よりソウルボシグクRCから8名、インドネシア バリ・タマンRCより3名の方々も参加されておりました。

名古屋名東ロータリークラブは和合ロータリークラ

ブの数名をキーマンとして40年前に発足し現在に至っておられます。そこで永年在籍者表彰を受けた会員が4名おられました。発足時から40年、クラブを支えて来られた4名の会員は、驚くことに全員が今日まで出席率100%を達成し、なおも記録更新中との事でした。

40年の歴史は、素晴らしい交流を続けられる姉妹クラブを持たせ、クラブ存続の意義を皆で共有し、50周年、60周年そして100周年にむけて頑張ろうというエネルギーを生み出しました。私たちも何かを得たとき心に残る周年の式典を開催できればいいですね。本当に素晴らしい式典でありました。

25RCの会長・幹事も集合し和気あいあいの祝賀会となりましたが、そのときこんな話が持ち上がりました。2017-18年度の幹事会を作ろうとか、会長会を作ろうとか、あちらこちらで話が持ち上がり、早速、仲の良いグループで会長会や幹事会が発足されました。私たちは勢いで、その会の幹事まで決めてしまいました。

今、竹内エレクト・片桐次年度幹事は次年度のスタート前で緊張と不安で一杯かと思えます。私たちもそうでした。なんで引き受けてしまったのか、こんな事務処理の山や人間関係をどう調整したいいのか、仕事はどうなるのかなど、悩みも限りなく生まれてきました。

しかし、昨日の記念式典が卒業パーティーのようになってしまい大いに盛り上がった事で、その苦労は吹き飛びました。深見幹事は、一言こういいました。「同じ苦労を共有してきた者同士なので、仲良くなって当然ですよ。苦労したものしか理解しあえません。」本当に、その通りでした。

竹内エレクト、片桐次年度幹事、頑張った先では、かけがえのない素晴らしいロータリーの仲間を得る事になります。そして普段の生活の中では、決して見つけられない何かを掴むかもしれませんよ。この先には、素晴らしい明りがあるかもしれません。どうかだまされたと思ってアクセルを思いっきり踏んでください。

これから、皆さんで感動を味わえる名古屋アイスロータリークラブを作り上げて行きましょう。

会長挨拶を終わります。

委員会報告

■先週に引き続き今年度総括の委員会報告が各委員会の委員長より発表されました。

① 加藤青少年奉仕委員長



ローターアクト主管について、アイリスにとって初めての経験でした。「最初は大変でしたが...」

② 安井クラブ戦略委員長



「3年後5年後を見据えた委員会をつくらなければいかん！」

③ 深見和久親睦委員長



「みなさまご協力ありがとうございました。」

④ 青木恭子会員増強副委員長



「来年度も会員増強を頑張ります。」

⑦ 菊地富士子カウンセラー



「カウンセラー、行事の報告を致します。」

⑤ 長谷川芳子職業・社会奉仕副委員長



「来年度も頑張ります。」

⑥ 荒山久美ロータリー財団・米山記念奨学委員長



「次年度は 委員会の会合をきちんとやっていきたい。」